



委員長メッセージ

～ 「STI for SDGs」 アワードに応募を検討される皆様へ ～

皆さんもご存知のとおり、「SDGs（持続可能な開発目標）」は 2030 年を目標達成年に設定しています。残された期間はあと 10 年しかありません。昨年（2019 年）9 月に開催された国連「SDGs サミット 2019」においても、目標達成に向けてよりアクションを加速化させることが各国首脳間で合意されました。

「STI for SDGs」アワードは、この問題意識のもと、科学技術イノベーション (STI) が SDGs の達成に一層貢献することを目指して、昨年度創設されました。STI を使って、社会課題を解決する優れた取組を表彰することにより、その取組のさらなる発展や、他地域への水平展開を促し、SDGs の達成に貢献することを目的としています。

STI という言葉の響きから、最新技術・先端技術を使った取組を想像されるかもしれませんが、本アワードでは、科学技術の先進性やレベルは審査の対象とはしていません。昨年度は数多くのご応募の中から 7 件を表彰対象として選定しましたが、その STI の活用方法は様々であり、受賞された皆様の属性や世代もバラエティに富んでいます。それらの取組は、STI そのものではなく、いずれも解決策への STI の活用や課題解決へのインパクト、その後の発展性・展開性について優れていたことが評価されました。既存の、既に社会に流通している技術であっても、うまく活用して解決策に取り入れることで社会課題の解決に活用することはできるのです。皆さんの周りにも、そのような取組は沢山あるのではないのでしょうか。

まさに、世界中が共通の難局に向き合っている今ほど、SDGs の掲げる“誰ひとり取り残さない”理念や持続可能であることの重要性を身にしみて考えさせられるときはありません。2030 年の目標達成に向けた活動を少しでも加速させ実効性あるものとするため、今年度も数多くの皆さまからの積極的なご応募をお待ちしております。

「STI for SDGs」アワード選考委員会委員長 蟹江 憲史
(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)